

令和元年度事業報告

平成31年4月1日～令和2年3月31日

魚津市シルバー人材センターの令和元年度の実践スローガンは、「人生100年 安全就業で、楽しく・元気に・和やかに」一であり、人生100年時代を迎え、年齢を重ねても生きがいを持って働き続ける場を提供するとともに、安全就業を推進し、会員一人一人が楽しく元気に和やかに生涯現役を続けられる機会を創出することを目指しました。

事業実績については、請負・委任事業では契約件数5,523件（前年比 △520件・△8.6%）、契約金額1億9189万円（前年比 △1,211万円、△5.9%）、派遣事業では契約金額1,466万円（前年比 +289万円、+24.6%）、職業紹介事業では契約金額2,375万円（前年比 +332万円、+16.3%）となりました。

請負・委任事業では、契約件数・金額ともに減となりました。請負単価の見直しにより宿直・清掃業務などでは金額が増えたものの、障子・襖張替え作業での受注減や、樹木関連業務での作業に従事できる会員を確保できなかったこと、請負から派遣・職業紹介へ切替えた事業のマイナス要因等が、プラス要因より大きかったことによります。派遣・職業紹介事業は増加したものの、全事業の合計では対前年比△590万円（△2.5%）となりました。

【事業実施計画の5項目に対する実施結果】

（1）会員の増強

平成30年度から実施した会費の減額と初年度会費の無料化を継続し、さらに、入会説明会を毎月2回開催し会員の増加に努めました。また、広報誌・新聞への折り込み用チラシ、仕事情報の一覧表の毎月配布とその内容のHPへの掲載や「会員紹介キャンペーン」、ニュースTVで入会説明会の告知番組を継続して実施しました。その結果、年間の入会者数75名、退会者数29名となり、会員数は対前年46名増の553名となりました。

（2）就業機会の拡大と就業能力の向上

ハローワークにてセンター事業関係のチラシの取り扱いを継続していただきました。新たに、商工会議所の協力を得て、会議の開催時に約100社の事業所にセンター周知のチラシを配布しました。封筒への事業PR印刷、会員の口コミによる就業開拓を継続するとともに、高齢者活用・現役世代サポート事業を活用し、会員の拡大と就業先の確保に努めました。

お客様の利便性向上のため、センター利用料金のコンビニ収納システムを導入し、令和元年度は1,974件の利用があり、全体の3割になりました。

(3) 安全就業の徹底

令和元年度の事故件数は、人身事故で5件（前年比 △ 2 件）、物損事故は9件（前年比＋8件）となりました。人身事故はいずれも通院の怪我で入院はありませんでした。物損事故は増加し、保険適用した賠償額は273,000円でした。今後とも会員の安全意識の徹底を図っていきます。

(4) 適正就業の推進

会員面談による意向調査を実施し、長期就業者の配置転換など公平な就業機会の提供に努めました。また、事業所との契約については、法令順守を常に意識しながら発注者と調整を行い、適正な契約となるよう改善や見直しを行いました。新たな事業者に対しては、適正就業のガイドラインを配布し、派遣・職業紹介の選択肢を提示することで、適正な受注形態がとれるよう努めました。

(5) いきがい活動と憩いの場の提供

シルバー人材センターが指定管理者となっている「魚津市高齢者いきいきセンター」の「高齢者のいきがいづくりの場」としての利活用を促進するため、地域の団体と連携して、「折り紙教室」、「小物づくり教室」、「園芸教室」、「麻雀」などの趣味教室の場の提供や、「いきいき農園」での地域住民との触れ合いの場の提供で、その積極利用を図りました。

また、魚津市の協力で実施する、元気なシルバー会員が地域の高齢者の日常生活の困りごとを助ける「お助けさん事業」（ワンコインサービス）は、利用者に喜んでいただけるとともに、シルバー人材センターのイメージ向上につながる事業となっております。